

ときわの島 いぜな



伊是名村

議会だより

No.
181

発行 2024年3月

令和5年第4回定例会議決結果一覧
令和6年第1回臨時会議決結果一覧
一般質問ダイジェスト
議会の動き
離島振興市町村議会議長全国大会
町村議会議長全国大会
郷友会の新年会、町村議会広報研修会
常任委員会所管事務調査、議長のつぶやき
キラリ★いぜなっ子、編集後記

2
3~5
6
7
8
9
10



新議場 初の定例会

かぎやで風を披露

令和5年 第4回伊是名村議会定例会 結果一覧

令和5年第4回伊是名村議会定例会は、12月12日(火)～13日(水)までの2日間で開催された。本定例会に提案された議案は11件、うち発議2件。一般質問には3名の議員が登壇し村政について質問した。審議の結果は次のとおりです。

議案番号	件 名	議案等の概要	議決の結果	議決日
議案第63号	令和5年度伊是名村一般会計補正予算(第4号)	67,399千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ4,523,461千円とする	原案可決	12/12
議案第64号	令和5年度伊是名村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	24,401千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ261,559千円とする	原案可決	〃
議案第65号	令和5年度伊是名村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	1,601千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ14,418千円とする	原案可決	〃
議案第66号	令和5年度伊是名村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	3,078千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ271,343千円とする	原案可決	〃
議案第67号	令和5年度伊是名村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	976千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ38,478千円とする	原案可決	〃
議案第68号	令和5年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(第3号)	1,911千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ470,408千円とする	原案可決	〃
議案第69号	伊是名村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	沖縄県人事委員会の給与勧告、他市町村の状況等を考慮し、本村の職員の給与について改定	原案可決	〃
議案第70号	伊是名村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和6年1月から出産被保険者に係る産前産後期間の所得割保険税及び被保険者均等割保険税の軽減措置等が講じられるため、伊是名村国民健康保険税条例の一部を改正	原案可決	〃
議案第71号	伊是名村簡易水道事業の設置等に関する条例及び伊是名村農業集落排水事業の設置等に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	伊是名村簡易水道事業及び伊是名村農業集落排水事業の地方公営企業法適用に伴い、関係条例の制定及び改正	原案可決	〃
発議第6号	伊是名村議会議員の請負の状況の公表に関する条例	地方自治法が改正され、議会議員に係る請負に関する規制が緩和されたことを踏まえ、村に対し請負をする議員が当該請負の対価として各会計年度に村から支払を受けた金銭の総額等を議長に報告し、当該報告の内容を議長が公表することにより、議員個人による請負の状況の透明性の確保に資するため、条例の制定	原案可決	12/13
発議第7号	米空軍横田基地所属CV22オスプレイの墜落事故に抗議し、原因究明・再発防止策が講じられるまでオスプレイ同機種の飛行停止を求める要請決議	米空軍横田基地所属CV22オスプレイの墜落事故に抗議し、原因究明・再発防止策が講じられるまでオスプレイ同機種の飛行停止を求める要請決議の提出	原案可決	〃

令和6年 第1回伊是名村議会臨時会 結果一覧

令和6年第1回伊是名村議会臨時会は、2月19日(月)の1日間で開催された。本臨時会で提案された議案は2件です。審議の結果は次のとおりです。

議案番号	件 名	議案等の概要	議決の結果	議決日
議案第1号	工事請負契約の変更について「定住促進住宅(内花地区)2号棟建築工事(R4線)」	工事請負契約金額の変更 元契約に対する変更増額: 5,390,000円 変更契約金額: 63,690,000円 (株)山口建設	原案可決	2/19
議案第2号	工事請負契約の変更について「伊是名村簡易水道事業配水管布設替工事(R5)」	工事請負契約金額の変更 元契約に対する変更増額: 9,533,700円 変更契約金額: 110,513,700円 (株)高宝建設	原案可決	2/19

(※詳細については、各字公民館に常備している会議録、また村ホームページでも閲覧できます。)

Q1 海外短期留学再開は

Q2 ふるさと納税での自治会支援を

Q3 保育料の無償化



たから 高良 真伊 議員

Q1 高良真伊議員

令和2年より中止が続いている、沖縄タイムス主催海外短期留学、来年度は再開されるのか。また、中止年度の生徒は派遣されるのか伺います。

A 照屋 巧教育長

現時点において令和6年度の実施は決定しておらず、株式会社タイムスアドネクスに問い合わせたところ、現在、検討中であり、1月頃を目途に判断したいとのこと。沖縄タイムス社の検討結果を踏まえ、当該事業の実施について判断したい。

中止年度の生徒の派遣についてであります。新たに派遣することは困難であると認識しております。

Q2 高良真伊議員

うるま市ではふるさと納税で自治会を支援する、「ふるさとうるま自治会活動応援事業」を行っているようです。支援したい市内の特定自治会を記入し寄附金を納入すると、全額が自治会に補助金として交付されるということです。本村も取り入れてはどうか。

また、うるま市ではNPO

団体へも同様の制度活用がなされているようです。本村も、各種団体があり、島内外で活動しております。これらの各種団体へ制度準用できないか伺います。

A 奥間 守村長

村における人口減少や高齢化により、自治会費が減少し、各区から燃料費高騰による電気代などの運営費や活動に苦慮しているとの声を聞いております。

これまで村独自で各集落への美化活動費等における助成や、事業活用した助成も行っておりますが、運営費等を確保するための新たな手段として議員提案のふるさと納税での支援については、地域の活性化を図るためにも村としても前向きに検討してまいりたいと思います。

村としては、特定の自治会ではなく、全自治会を一つの自治会として捉え、寄附金を募り、人口割などを勘案した後に全自治会へ平等に配分していく仕組みを考えていきたい

と思います。

村の各種団体へ制度を準用できないかというご質問ですが、うるま市では返礼品の製作、手配、発送等に要する一切の費用をNPO団体が負担することになっているとのこと。村の各種団体でもそのような対応ができるのか懸念されます。

また、現在、村から助成を行っている団体もありますので、活動実績等を踏まえ、制度として活用できるのか検討してまいりたいと思います。

Q3 高良真伊議員

0歳～3歳児未満の保育料の無償化ができないか伺います。

A 奥間 守村長

支給認定利用者負担額については今年度は500万円程度の収入を見込んでおります。保育所を運営するにあたっては、年間6000万円程度財源を支出することから、保育所保育料は大切な収入源となっております。

議員質問にあります0歳から3歳児、3歳未満児の保育料無償化については、財源の

確保が課題となりますので、財政状況などを勘案し、検討してまいりたいと思います。

Q 高良真伊議員

今年度予定していましたが、いいな運天港いちゃりばまつり」に130万円、例年の尚岡マラソン大会支援事業に350万円予算が組まれておりました。今後廃止するとう9月の答弁だったと記憶しております。この廃止された財源を使った保育園の保育料の無償化はいかがですか。

A 奥間 守村長

保育所無償化の財源については、離島活性化事業、あるいは一括交付金を利用してはどうかという提案でありましたけれども、それについては当初計画もあけて、それでまた県の主管関係部署とも調整していかないと、すぐできるかどうかというのは今ここで即答は控えさせていただきますと思います。

今後その辺も検討して、できるのであれば、一応検討課題としてやっていきたいと思っております。

Q1 村の税収について

Q2 村内在宅医療を



あがりえ もとなり
東江 源也 議員

Q1 東江源也議員

本村の法定外目的税は環境協力税ですが、島外から入村する車に排出ガス税、民宿等には宿泊税、島外入域者の環境協力税の増額を提案します。

A 奥間 守村長

平成17年から導入した環境協力税は、自治省との事前協議で村民を課税対象から除く法的根拠がないことから、村民を問わず、入域する全員が課税対象になった経緯があります（高校生以下、及び身障者は対象外）。

このことをふまえると、排出ガス税についても、本島に出て島に帰る村民の車両も対象になると思われます。

宿泊税については、宿泊業者や関係者の理解を得ながら検討していく必要がありますが、村民が利用する場合も課税対象になると思われます。

環境協力税の増額につきましては、その当時の自治省との事前協議等で村民との合意形成が得られることや、100円と少額であることから認められた経緯があります。

す。税額を上げるのであれば、今後、住民説明会やアンケート調査等を実施し、検討していく必要があります。

Q 東江源也議員

入域者は日帰りにしてもジュース、コーラ、スナック菓子などを島に持ってきて、飲食後のゴミは島に捨てて帰ります。そのゴミを処理する村の負担に対して、新しい税を考えていく必要があると思います。

A 奥間 守村長

環境協力税の導入から何十年も100円のまま変わっていないので、排出ガス税、宿泊税も併せて、関係省庁とも話をしながら前向きに検討します。

Q2 東江源也議員

本村は少子高齢化が進み、一人暮らしの高齢者でも安心して暮らせるような在宅医療システムを整備して、福祉を充実させてはと思います。いかがでしょうか。

A 奥間 守村長

本村の高齢化率は34・3%と特に高い状況です。

住み慣れた地域で人生最後まで安心して暮らせるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援を提供する地域包括ケアシステムの構築に向け、現在、地域支援予防事業を展開しています。

自宅での看取り、退院後の通院が難しい方や医療処置が必要な方が希望すれば、複数の関係機関と連携し、伊是名診療所で診療の合間に往診という形で訪問しています。

さらに、在宅医療を受けることができる特別養護老人ホームチチン園があり、伊是名包括支援センターと伊是名村社会福祉協議会、チチン園内居宅介護支援事業所等と連携しています。

Q 東江源也議員

一人暮らしの高齢者の方々等には思い通りに診療所に行けませんので、定期的な訪問診療が可能になればいいと思います。

A 諸見美奈子住民福祉課長

現在、伊是名村の在宅医療ができるシステム構築はしっかりとできていると思います。

例えば、患者さんが退院するにあたって、包括支援センターへ連絡が行きます。そこから医師、看護師、保健センター、社協、居宅事業所等、個別ケース会議を行って、利用者に合ったサービスを提供する。また、医療、配食、移送サービス、生活サポーター、短期集中訪問指導、通所入浴指導、デイサービスに繋がっています。

Q 東江 源也議員

しっかりと充実した医療体制ができているものと感じています。

それが連絡が来てから行くようではなくて、定期的にいっても廻って行けたら患者も安心するのではないのでしょうか。村長、その辺の検討はどうですか。

A 奥間 守村長

村では在宅医療システムを積極的に進めている状況です。今後も関係事業所等と連携を図りながら、継続して実施していきたいと思っています。

Q1 主要道路の道路標示や アスファルト舗装の整備

Q2 村道アーガノ下線の道路整備



うえはら ちやうりよう
上原 長良 議員

Q1 上原長議員

村内の主要幹線道路のほとんどが、センターライン等の白線や道路標示がほぼ消えた状態や、道路に凹凸が多く、非常に危険な状態です。急に道路の安全対策を講じるべきだと考えます。2021年9月定例会でも、同様の質問が行われています。進捗状況と今後の計画を伺います。

A 奥間 守村長
状態が悪い場所には早



劣化している路面の状況(千原線)

急に応急措置を行っています。進捗状況と、今後の計画についてお答えします。

①センターライン等の白線や道路標示が消えた状態について、国土交通省道路局所管に係る補助事業や起債事業で実施できないとして、他の事業を模索中です。

②村道南風原線から伊是名特産品(モズク)最終選別施設への道路の安全対策として、車線分離標を設置しています。

③路面劣化によるアスファルト舗装については、費用の範囲内で随時対応中です。

今後の計画ですが、村道南風原線、チチン線、上仲田線、潮平間線の道路改良工事を現在実施しています。他の路線は、当該事業の完了時期を見据えて、新たに計画して進めたいと考えています。

Q 上原長議員
道路管理台帳と
いうものがあるれば、耐

用年数に応じて順次整備ができ、また予算も計画的に進められると思います。道路の現状確認方法について、お聞かせ下さい。

A 濱里 篤建設環境課長
舗装修繕での長寿命化

計画を策定して、全路線の点検を行う予定です。その際、下層路盤、路盤から表層まで行う補助事業と、路面だけを打ち替える事業と2種類あり、それを確認して、工事を進めたいと考えています。

道路台帳というものがございまして、それをもとに試算をして、建設環境課と企画政策課で協議して進めます。

Q2 上原長議員

村道アーガノ下線は、役場新庁舎の移転や、保育所や塾の送迎、支援センター利用等、多くの村民が利用します。しかし、道幅が狭く、見通しが非常に悪いです。今後、消防車庫の移転もあるので、緊急時にも対応できるように道路整備を早急に進めるべきだと考えます。

A 奥間 守村長

本道路は、土地改良事業で整備された農道でしたが、後年、村道へ格上げされました。路線が農地と隣接している、さとうきびの生育とともに見通しが悪く、また山の形状に沿った道路のため、カーブの多い路線です。

先程の4つの路線の整備完了時期を見据えて検討が必要ですが、当面は、草刈りや雑木等の切り払い、道路の維持管理を行う予定です。

さらに、さとうきびの収穫作業の時期は、大型車両の往来も予測されますので、安全面に配慮し、県道諸見勢理客線の利用もお願いしたいと思います。

A 濱里 篤建設環境課長

さとうきびが耕作されている箇所は、土地改良施設、土地改良区の中に入ります。あと、農業振興地域の指定解除手続きや、さらに保安林の解除も必要で、クリアする条件が山積みです。

議会の動き

令和5年12月

- 2日(土) ・イルミネーション取付作業
臨海ふれあい公園
- 7日(木) ・議会運営委員会
- 9日(土) ・学習発表会・校内歌合戦(副議長)
伊是名中学校
- ・第29回伊是名村生涯学習発表会
伊是名村産業支援センター
- 12日(火) ・第4回定例会(～12月13日(水))
- 20日(水) ・広報常任委員会
- 21日(木) ・令和5年 年末年始の交通安全県民
運動(～12月25日(月))
伊是名小学校・社協前
- 23日(土) ・伊是名村新庁舎落成式・祝賀会
新庁舎正面玄関前・産業支援センター



新庁舎落成式 記念植樹

- 25日(月) ・伊是名小学校校舎新築落成記念式典
小学校新校舎1階多目的広場

令和6年1月

- 1日(月) ・令和6年伊是名村「二十歳の祝い」
伊是名村産業支援センター
- 5日(金) ・令和6年消防団出初め式
伊是名村役場 正面玄関前



消防団出初め式

- 11日(木) ・伊是名村「新春の集い」
伊是名村産業支援センター
- 12日(金) ・伊平屋村「新春の集い」
伊平屋村産業連携拠点センター



伊是名村新春の集い

- 15日(月) ・令和6年 国・県出先機関の長及び
関係団体等と北部市町村との新年会
(議長・副議長)
名護市労働福祉センター
- 20日(土) ・イルミネーション片付け作業
臨海ふれあい公園
- 21日(日) ・やんばるの物産展(議長)
パレットくもじ前広場
- 26日(金) ・第44回伊是名村文化財防火訓練
国指定重要文化財 銘苅家住宅



伊是名村文化財防火訓練

- ・伊是名村郷友会「新春の集い」
マリエールオークパイン那覇
- 28日(日) ・陸上自衛隊第15音楽隊第14回定期演
奏会(議長) 沖縄市民会館大ホール
- 31日(水) ・町村議会広報研修会 自治会館

令和6年2月

- 5日(月) ・久米島町納骨堂・浦添市施設型共同
墓地視察(～7日(水))
- 14日(水) ・広報常任委員会
- 19日(月) ・令和6年第1回臨時会
- 27日(火) ・北部広域市町村圏事務組合議会第
63回定例会(議長) 北部会館
- ・町村議会第53回定期総会(議長・局
長) 自治会館
- 28日(水) ・県離島振興市町村議会議長会第15回
定期総会・議員研修会 自治会館
- 29日(木) ・町村議会議員・事務局職員研修会・
交流会 パシフィックホテル沖縄

11/28
火

離島振興市町村議会議長全国大会

第41回離島振興市町村議会議長全国大会が、令和5年11月28日(火) 東京ホテルグランドアーク半蔵門にて開催され、議長及び局長が参加致しました。

大会では、奄美群島振興開発特別措置法並びに小笠原諸島振興開発特別措置法の改正、延長に関する特別決議のほか離島、奄美群島・小笠原諸島、沖縄及び有人国境離島地域の自立的発展

を促進し、島民生活の安定及び福祉の向上が図られるよう令和6年度の予算編成及び施策の策定にあたって、12項目の要望が決議され採択されました。

なお、今大会の議長団に久米島町議会玉城安雄議長が選出され、議事の進行にご尽力いただきました。



11/29
水

町村議会議長全国大会

第67回町村議会議長全国大会が、令和5年11月29日(水) 東京NHKホールで開催され、議長及び局長が参加致しました。

大会では、3件の特別決議の他、令和6年度予算の編成及び施策の策定にあたって、28項目の国への要望が決議され採択されました。そして、

大会終了後には、フリーキャスターの伊藤聡子氏による「地域から輝く日本へ ～未来への選択と責任～」と題して講演があり「地域経済の活性化が、日本の元気を取り戻す鍵」ということで、地域をいきいきと輝かせる地域活性のヒントを話しておりました。



新庁舎での初定例会

令和5年12月12日(火)、新庁舎引越し後初となる12月定例会が新議場において開会されました。開会に先立ち、東江清和議員、農林水産課長、商工観光課長の地謡で、議長・副議長・事務局長の3人が、かぎやで風を舞い嘉利をつけました。

これから新議場では、議員、執行部による新たな歴史が刻まれていくことになります。



1/26
金

伊是名村郷友会「新春の集い」

那覇市内で令和6年伊是名村郷友会「新春の集い・受章者祝賀激励会」が4年ぶりに開催され約200名余りの参加者であった。

末吉康敏会長は昨年の伊是名村青少年チャリティーゴルフや伊是名郷友芸能協会チャリティー定期公演が大成功裏に終えたお礼と、その一部収益を村に寄附したとの報告があった。引き続き故郷への支援事業を行い村の発展に寄与したいとの思いを述べられた。

また、2020年から2023年にかけて秋の叙勲において地方自治功労として長年の功績が認められ受章された6名にそれぞれ花束が贈呈され、伊是名村の誇り高き栄誉と祝福の喜びに会場が沸いた。



舞台は郷友芸能協会や婦人部、青年部による余興など盛りだくさんの舞台演出もあり素晴らしい盛り上がりとなり久々の郷友との絆を深める交流の場となった。伊是名村議会議員一同

1/31
水

町村議会広報研修会

県内町村議会広報研修会が前回の「そろそろ化けませんか」と題しての研修会から2年ぶりで今回は「少しは化けましたか」とのタイトルに変わり、新聞社勤務を経て議会広報ファシリテーター、熊本大学客員教授の越地真一郎氏を前回に引き続き講師として招へいし開催された。

各町村の議会だよりを確認しながら、そろそろ変化、進化しているか集中的に検証する形で行われたが、すっかり定着した各広報の内容の変化・進化を、一気にさせることはなかなか厳しいとの結果であった。

年4回の季刊誌の「議会だより」は全国的に各地域住民6割が見ていないとの調査結果があ



り、いかに読みやすく編集していくか、今後の広報は大胆な広報紙面に「化ける改革」が重要であることを強く感じた有意義な研修会となった。

常任委員会(総務、経済建設)所管事務調査を実施

村で計画のある共同墓地(納骨堂)の事務調査として両常任委員会では、令和6年2月5日(月)～7日(水)までの日程で、久米島町及び浦添市を視察してきました。

久米島町では町営納骨堂、浦添市では市施設型共同墓について各自治体の担当者から整備の目的、施設の概要、維持管理等、詳しい説明を受け、村が整備する上での課題やその解決策を見出すことができた事務調査となりました。



議長のつぶやき

伊是名村議会議長の潮平です。村議会というと堅いイメージがあると思いますが、楽しいエピソードやほんわかするお話もあるんですよ！ 議員の奮闘ぶりもお伝えできればと思います。

ハイタイ、村民の皆様。

私は議員活動の他に人権擁護委員として国から委嘱を受けています。

人権擁護の活動には、人権相談、人権の花運動及び人権作文コンテスト等いろいろあります。

今回嬉しいニュースを紹介します。人権擁護委員連合会主催「全国中学校人権作文コンテスト沖縄県大会」において、伊是名中学校2年生の上原千愛(ちあ)さんが、見事奨励賞を受賞されました。家庭生活や学校生活等での体験を通して基本的人権の重要性をよく理解されたという事で受賞されました。

おめでとうございます。



左から潮平そのみ議長、上原千愛さん、具志堅仁一中学校校長

次は議員の皆さんの活躍ぶりを紹介します。

私たち議員は定例議会や臨時議会等の議会活動の他、地域でのボランティア活動も行います。今回で3回目となる臨海ふれあい公園屋外ステージ前の広場に設置されたイルミネーションは、すっかり冬の風物詩となりました。

島みずきさんのアイデアで村議会議員・役場職員クラブ・(有)尚伸電気さん・伊是名運送(株)さんの協力により、飾り付けはバージョンアップされて村民や来島するお客様に大いに喜んでもらえたものと思います。来年は皆さんのアイデアも取り入れたいと思いますので議会事務局までご連絡ください。 議長 潮平 そのみ



キラリ★いぜなっ子

ザ・学生II

vol.33

キラリ★いぜなっ子 ザ・学生は、本村出身のがんばる学生を紹介するコーナーです。今回のキラリ★いぜなっ子は首里高等学校と豊見城高等学校に通うお二人です。

首里高等学校(3年生)
なかだ
仲田 慎さん
(伊是名)



中学校の頃から「将来、医療系の道に進みたい」という明確な夢を持つ慎さんは、大学進学を見据え、進学率が高い首里高校に進むことを決めました。

本島での生活は離島学生の生活面をサポートする「群星寮」からのスタート。生活面ではサポートの充実ぶりや知り合いがいたことから、特に苦労しなかったそうです。学校生活では、知り合いがまったくいない状態。積極的に友人をつくらうと考えていました。すると、しだいにクラスメイトとも仲良くなり、学校生活が楽しいと感じ

始めます。学校行事では、遠足や、新入生歓迎球技大会、修学旅行など楽しい思い出が詰まっています。

勉強面の話をたずねると「周囲が勉強する環境なので自然に引っぱられていきます」と話します。学校生活の思い出は「受験勉強に邁進した日々」だそうです。「楽しかったという」と適当ではないかもしれないですが、仲間たちと目標に向かって勉強に励んだ日々はいい思い出です」と充実した声で話してくれました。

後輩たちへ送るメッセージは「なりたいたい自分を早めにイメージして前進できる環境に身を置くことが近道だと思います」と熱く語ります。

島への思いは「お世話になったという思いが強いです。将来に関わりを持つことができれば」と思いを馳せていました。

豊見城高等学校(2年生)
いれい
伊禮 正吾さん
(勢理客)



正吾さんは中学生の時に軟式テニスを始めました。高校では、テニス関係の先輩の影響で強豪校の豊見城高校へ進学。高校生活がスタートします。

本島での生活は家族と一緒にスタート。学校生活では、学業と部活の両立に奮闘します。得意の軟式テニスでは、ダブルスで沖縄県代表として、九州大会に出場。九州大会では3回戦まで進みましたが、部活を終えて帰宅するのは、いつも20時ぐらいになるそうです。お母さんがいつも夕食を作ってくれるので、とても感謝しています。

ますと照れながら話します。

学業は、苦手だけれど、どんな時も授業中は絶対に「眠らない」「先生の話を聞く」などの決め事をつくって少しずつ前進しています。

2年生に上がった時は、大規模なクラス替えを経験。これまでにないことで戸惑いましたが、球技大会や修学旅行など楽しい思い出ができました。

卒業後の進路についてたずねると「これから部活動で実績を残して、経験を進学などに活かすことができれば」と話します。

島への思いを聞くと「幼稚園から約10年間、自分を育ててくれた島の人たちに感謝の気持ちを持っています。どういう形になるかわからないけど、恩返ししたい」と真剣な表情で話してくれました。

村民の皆様。はいさい、ぐすーよーちゅーうがなびら。

編集後記

1月1日に石川県で発生した能登半島地震により、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが令和5年5月8日に5類に移行し、村内のイベントや行事が開催されるなど日常に戻ったことにより、私達議会も所管事務調査を行いました。

議会活動の報告や議員一人一人の村づくりの想いを議会だよりをとおして村民の皆様にお届け致します。

広報常任委員会副委員長 伊禮 正隆